

# 【外国語活動・小1・「Let's Play!『The Big Turnip』】①

## 育成を目指す資質・能力

<本時のねらい>

「The Big Turnip（大きなかぶ）」の台詞に親しみながら、先生の表現の仕方をまねしたり、工夫したりする。

## ICT活用のポイント

- 学習支援ソフトを活用し、自己の課題に応じて必要な場面の音声を繰り返し聞き聞かせることにより、個別に学習を進めることができる。
- 発表練習を撮影し合い、その映像を個人、ペア、グループで視聴することにより、改善点に気づき、表現方法を工夫することができる。

【つかむ】

本時のめあてをつかむ。

【追究する】

【場面①】

個人で練習する。  
ペアで練習する。

【場面②】

グループで発表練習をする。  
表現方法を工夫する。

【まとめる】

本時の振り返りをする。

## 事例の概要

教育課程特例校として、1学年から外国語活動を行っている学校の事例である。単元終末の劇の発表に向けて、練習したり、ペアやグループで表現方法を工夫したりする。

○単元の目標（本時3 / 5時間）

「見ている人に分かってもらうために、ジェスチャーや表情など相手に伝わるように工夫しながら、劇の中の登場人物の台詞を話す。」

○単元の課題

「『大きなかぶ』の劇を友だちと楽しもう。」

○ICT端末の活用場面

【場面①】

- ・ALTが作成したオリジナル教材を個人のICT端末で視聴し、自己の課題に応じて個別に練習する。
- ・ペアで発表を録画し合い、映像を視聴しながら、個人で確認したり、相手にアドバイスをしたりする。

【場面②】

- ・グループで発表している場面を録画し、その映像をもとに工夫する点をグループで話し合う。

# 【外国語活動・小1・「Let's Play!『The Big Turnip』】②

## 【事例におけるICT活用の場面①】



### 【場面① 個人での練習】

- 教師は、本単元で使用する英語表現について学習支援ソフトを用いてオリジナル教材を作成し、児童のICT端末に送信する。
- 児童は、自己の課題に応じて台詞の場面を選択し、繰り返し音声を聞くことにより、個に応じた学びが可能となる。



### 【場面① ペアでの練習】

- ペアになり、発表している場面をICT端末で録画し合う。
- 自分の発表を即座に確認することができ、ALTの発表モデルと自分の発表を比較したり、改善点に気付いたりすることができる。
- 互いの動画を視聴しながら、良い点や改善点をアドバイスし合い、ジェスチャーや表情など表現方法の工夫につなげることができる。

## 【事例におけるICT活用の場面②】



### 【場面② グループでの発表練習】

- グループで発表している場面を録画し、その動画をもとに表現方法の工夫などをグループで話し合うことにより、協働的な学びが可能となる。
- 話し合いの後、工夫する点を意識して2回目の発表練習を行い、録画した動画を1回目の発表と比較する。児童は、発表がよりよくなっていることを実感することによって、友だちと英語で演技することを楽しみ、次の学びに向かう意欲を高めることができる。

【活用したソフトや機能】・学習支援ソフト ・音声録音再生機能 ・動画撮影機能